

# SS-450



はじめに	1
安全上の注意	1
ご使用環境について	5
SS-450各部名称	6
SS-450梱包リスト	7
SS-450リフトの仕様	7
Cシリーズで使用する記号	8
ハンドスイッチの取付方法	9
操作	
リフトの電源の入れ方	10
ハンガーの操作方法	11
レールに沿ってリフトを移動する	11
充電方法	12
ディスプレイの表示内容	13
非常停止	15
非常下降	15
非常手動上昇/下降	16
お手入れ方法	16
トラブルシューティング	17
保守点検について	18

## 取扱説明書

## はじめに

このたびは **SS-450** をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には **SS-450** の機能と操作方法、使用上の注意などが記載されております。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、ご使用ください。またお読みになった後もいつでも見られる場所に、大切に保管してください。

このマニュアルの内容は、書面による事前の通知なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

## 安全上の注意

この取扱説明書及び製品本体にはお使いになる方や他の人への危害と財産の損失を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための、重要な内容を記載しています。

次の絵表示・図記号の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載されている事項をお守り下さい。

### 本説明書での表示方法

#### 絵記号の意味



**警告**

誤った取扱いをすると死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



**注意**

誤った取扱いをすると中程度の障害や軽傷を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

#### 図記号の意味



禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に、絵や文章で、具体的な禁止内容が記載されています。



行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に、絵や文章で、具体的な指示内容が記載されています。

## 取扱い全般について

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本説明書および注意銘板の内容を熟知しない人は、使用しないでください。</li><li>• 本製品はベッドから車いすへの移乗、寝具の交換、排泄などにおける介護者の負担の軽減や、体のご不自由な方の自立を支援することを目的としています。これ以外の用途には使用しないでください。</li><li>• ハンガーに吊り具以外のものはかけないでください。荷物や異なる形状の吊り具などを吊ると不安定な状態となり、怪我をする恐れがあります。</li></ul>

## 据付、取付について

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 走行レール、リフト本体、充電関連機器の据付は専門業者、専門知識のある人以外は絶対に行わないでください。</li><li>• 本取扱説明書に記載されている環境以外では使用しないでください。</li><li>• 充電器および充電コネクタは浴室内や放熱を妨げるものがある場所には設置しないでください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>• 走行レールの端にはストッパーを取り付けてください。</li><li>• 設置する場所に十分な強度があることを確認してください。</li></ul>

## 運転と操作について



### 警告

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 積載荷重 <b>SS-450/100kg</b>・C-625/283kg以上の荷重をかけないでください。</li> <li>• 過度の斜め吊りは行わないでください。</li> <li>• 吊り具から降りたのち、吊り具を首や手首等に引っかけたまま、操作を行わないでください。</li> <li>• 走行中、ストッパーに当てて止めることはしないでください。衝撃で怪我をしたり、機器を壊したりする恐れがあります。</li> <li>• 非常下降装置で降りるときは、一気に下へ降ろさないでください。</li> <li>• 本体に故意に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。</li> <li>• 本機は浴室では、ご使用にならないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 必ず介護者の介護のもとにご使用ください。乗る方で自身で操作されると非常に危険です。</li> <li>• 乗る方で自身で操作される場合は、施設や病院で十分な訓練を行い、取り扱いに習熟した後、ご使用ください。また、異常時に緊急呼び出しができる手段を必ず設けてください。</li> <li>• 動かす前に、ハンガーに他のものが絡まっていないか、確認してください。ハンガーに吊り具を着脱するときは、ハンガーが振れないよう、手でおさえてください。おさえないと、思わぬ方向にハンガーが振れ、けがをする恐れがあります。</li> <li>• ベルト・シートを体に装着してリフトを上下する場合は、ベルト・シートの掛けひもがハンガーのフックに確実に掛かっていることを確認してください。外れたままリフトを上げ下げしますと、介護される方に苦痛を与えたり、リフトから落下し怪我をする恐れがあります。</li> <li>• 操作するときは、本機の動作を常に見ながら行ってください。見えない位置から操作すると、第三者や障害物に当たったり、引っかかりたりし、怪我や器物破損の原因となる恐れがあります。</li> <li>• 本体やリモコンスイッチを水中に落とした場合、水に浸かった場合は、使用を止め、速やかに代理店または弊社までご連絡ください。</li> <li>• その他異常を感じた場合は、速やかに代理店または弊社までご連絡ください。</li> </ul>

## 運転と操作について

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンスイッチに故意に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。</li> <li>・不必要な寸動操作（インチング）や急な逆転操作は行わないでください。</li> <li>・ベルトスリングが捻れた状態では、巻き取ったり、上昇させたりしないでください。</li> <li>・非常下降装置は緊急時以外使用しないでください。</li> <li>・オートリターンボタンを押せば自動で充電ポイントまで戻ります。その際、充電ポイント方面に人や障害物が無いこと確認して下さい。（オートリターン機能設定機種に限ります）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行方向に障害物がないか確認してください。</li> </ul>

## 保守点検と改造について

 <b>警 告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品及び付属品の分解、修理、改造はしないでください。</li> <li>・製品の修理・分解は知識のある人以外は絶対に行わないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守点検および修理は、当社が認めた専門業者、または、当社が認めた専門知識のある人が行ってください。</li> </ul>

## 無線リモコンについて

 <b>注 意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作スイッチを押している間、LEDが点灯します。</li> <li>・電池電圧について(電圧値は目安です。また、今後変更する可能性があります。)               <ul style="list-style-type: none"> <li>-減電圧：ボタン操作中約2.3V以下でLEDが“赤”で点滅し、ブザー音が遅い間隔でなります。電池電圧が低下していることをお知らせします。</li> <li>-限界電圧：ボタン操作中約2.2V以下でLEDが消灯します。</li> </ul>               これは、送信中に電池電圧が低下し、操作中の電波が送信できなることを防ぎます。             </li> <li>-リセット電圧：約2.1V以下でリモコンが動作しません。</li> <li>・使用環境により応答速度が最大2秒程度遅くなる場合があります。</li> </ul>	



## ご使用環境について

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本体に故意に水をかけたり、水中に落としたりしないでください。</li> <li>• 充電器および充電コネクタは浴室内や放熱を妨げるものがある場所には放置しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 万一本体やリモコンスイッチを水中に落とした場合、水に浸かった場合は、使用を止め、速やかに代理店または弊社までご連絡ください。</li> </ul>

使用・保管条件	
温 度	- 40℃ ~ 70℃
相対湿度	10% ~ 100% RH
気 圧	500 ~ 1060Hpa

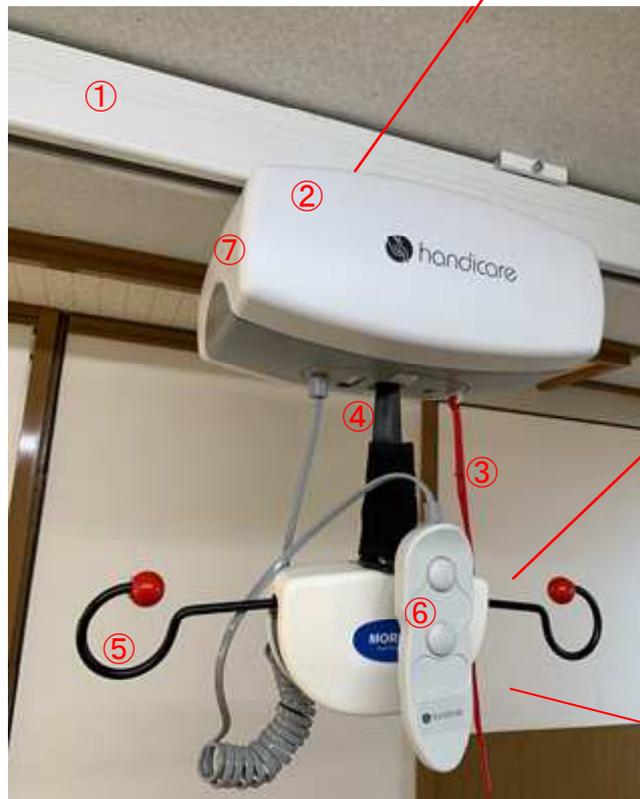
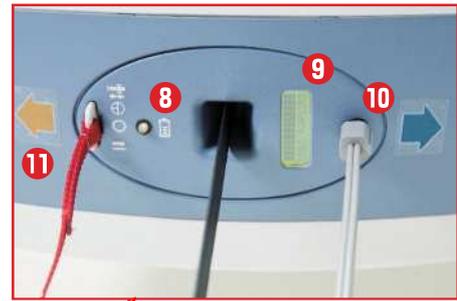
## ご使用前の点検

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 充電器の近くに、放熱を妨げるようなものは置かないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設置する場所に十分な強度があることを確認してください。</li> <li>• 走行レールの端にはストッパーを取付けてください。</li> <li>• 動かす前に、ハンガーに他のものが絡まっていないか、確認してください。</li> <li>• 初めて使用する際には、人を乗せずに昇降、走行を行い次のことを確認してください。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 円滑に昇降、走行するか</li> <li>* 異常な音や振動がないか</li> <li>* 障害物がないか</li> <li>* 本体及び充電器の表示灯が正しく表示されているか</li> </ul> </li> </ul>

# SS-450/C-625の各部名称

- ① レール
- ② リフト本体
- ③ 非常停止・下降コード  
電源スイッチ
- ④ ストラップ
- ⑤ ハンガー
- ⑥ ハンドスイッチ
- ⑦ 非常下降装置(手動)
- ⑧ 電源ランプ  
緑：ON  
橙：充電中  
赤：要充電
- ⑨ ディスプレイ
- ⑩ ハンドスイッチ差込口
- ⑪ 進行方向矢印
- ⑫ 上昇ボタン
- ⑬ 下降ボタン
- ⑭ 進行方向ボタン(青矢印)
- ⑮ 進行方向ボタン(黄矢印)
- ⑯ 充電ポイント
- ⑰ 充電器
- ⑱ 充電ランプ  
緑：満充電  
橙：充電中  
赤：通電中

無線リモコン



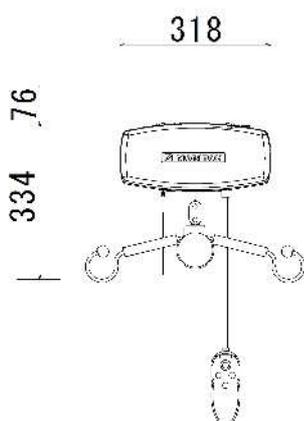
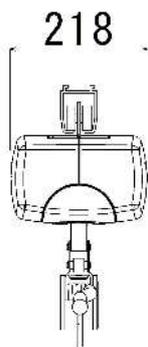
## SS-450/C-625梱包リスト

- SS450リフト本体
- 充電器
- 非常下降用六角レンチ
- ハンドスイッチ（引掛けリング付き）
- 取扱説明書（保証書付）
- 無線リモコン
- 単4電池（テスト用）2本

注意 はじめてリフトを使用する際には、リフト本体を4時間以上充電して下さい。

## SS-450/C-625リフトの仕様

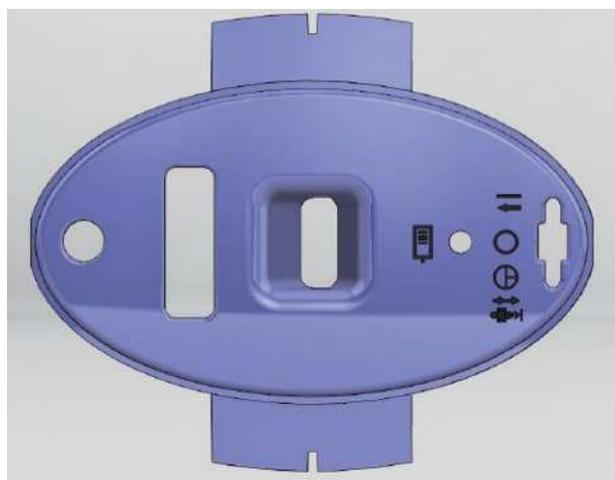
- リフトモータ： 24 VDC  
走行モータ： 24 VDC 電動走行（オプション）の場合  
交流充電器型式： HP1202B  
交流充電器入力： 100-240 VAC、1.0 A、50/60 Hz  
交流充電器出力： 24 VDC、1.5 A  
電池： 24 VDC（2×12 VDC）5.0 AH、密閉型鉛蓄電池  
本体カバー： 難燃性ABS  
ハンドスイッチ： 空気圧式  
昇降範囲： 2420 mm以内  
本体重量： 9.5-10.65kg  
最大荷重： **SS-450・100kg** C-625・283kg  
使用サイクル： 1分間稼働、9分間休止  
定格性能： 満充電で、**SS-450・100kg** で50～60回、  
C-625（283kg）で30～40回の昇降可能。  
（昇降ストローク610mm場合）  
注意：設置・使用環境により昇降回数変動します。  
最大騒音レベル： 最大荷重の上昇時60.3dB、最大荷重の下降時56.1dB  
耐用期間： 22500サイクルまたは10年のいずれか早い方



スタンダードレール使用

## Cシリーズで使用する記号

マーク	記号	参照	タイトル
X		IEC 60417-5172	クラスII機器
X		ISO 7000-0434	危険注意、付属の文書を参照のこと
X		TUV	TUV認定
X		IEC 604175007	"ON" POWER
X		NA	バッテリーレベルおよびシステムエラー表示のステータスLED
X		IEC 604175840	タイプB適用部品
X		ISO 7010-M002	取扱説明書/パンフレットを参照のこと
X		IEC 604175008	"OFF" POWER
X		IEC 604175011	"ON"/"OFF"
X		NA	非常下降



記号の図形表示

## ハンドスイッチの取付方法



○リフト下側の差込口にハンドスイッチ側の差込口を凹凸を合わせながら深く差し込みます。

○電源をONのうえ、各ボタンを押して正常に動作すれば接続は完了です。

○リフトが正しく作動しない場合  
リフト下側の差込口とハンドスイッチ側の凹凸が正しく合っているか、また深く差込まれているか確認して下さい。差込完了後、上記の動作を再度行ってください。

上記の確認でも動作しない場合は、販売店または弊社までご連絡をお願いします。



# 操 作

▲警告：SS-450 リフトシステムを使用する前に、リフト本体、レール、スリング等に異常な摩耗や損傷がないか目視検査してください。異常があれば直ちに使用を中止し、代理店または弊社までご連絡をお願いします。無理な使用はご利用者様、介助者が死亡または重症を負う可能性があります。



写真3 手動走行タイプ無線リモコン

## リフトの電源の入れ方

本体電源が OFF の場合

- ① 電源スイッチを上押し、本体電源を ON にする。

本体電源が ON の場合

- ① ハンドスイッチ、無線リモコンのいずれかのボタンを押します(写真 1 2 3)
- ② リフトの下側にある表示灯が緑に点灯し、ディスプレイの画面が表示されます。(写真 4)  
※リモコン式スイッチの場合は、使用時、電源を ON にします。(写真 3)

リフトの電源が入らない場合

電源スイッチが下がった状態になっていないか確認してください。詳細については、18 ページを参照。

## 電源の切り方

- ① 電源スイッチを一段下に下げ、本体電源を OFF にする。

電源を切り忘れた場合

リフトは約 2 分間使用しなければ、自動的に電源節約に切り替わり電源を OFF にします。

※リモコン式スイッチの場合は、リフトを使用しないときは電源を OFF にします。

バッテリーの充電警告音について

### ▶要充電時

リフトの下側にある表示灯が黄色に点灯し、遅い信号音(ピー音)がなります。

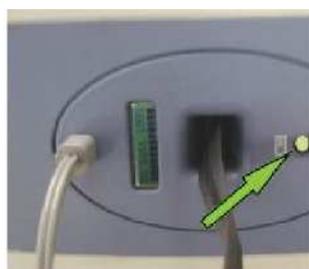
また、画面にも Low Battery と表示がされます。

### ▶バッテリー切れの場合

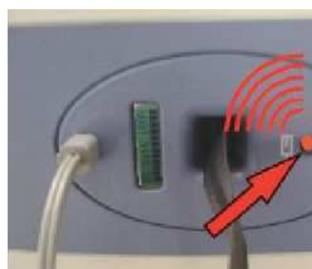
リフトの下側にある表示灯が赤く点灯して、速い信号音(ピー音)がなります(写真 5)

リフトは上下に動かなくなり、画面に電池切れが表示されます。

バッテリー切れ後は、約 1 時間の充電でリフトは動作可能ですが、4 時間以上充電することを推奨します。



(写真 4) 点灯した電源表示灯

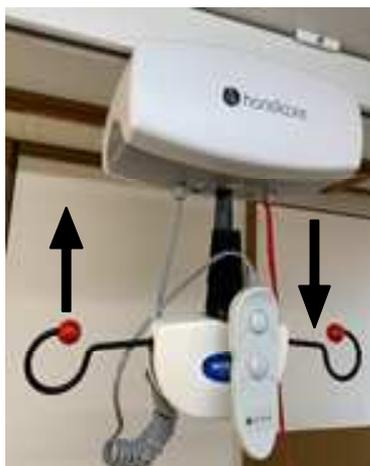


(写真 5) バッテリー切れ表示灯

## ハンガーの操作方法



写真1 電動走行タイプのハンドスイッチ



ハンガーの上昇/下降

- 上昇または下降ボタンを押し続けてください（写真1参照）。押し続けている間、ハンガーは上下します。ボタンを離すとご希望の高さで停止します。
- ハンガーを上下させる際にはハンガーが揺れて、ご利用者や近くの障害物に接触しないようご注意ください。

## レールに沿ってリフトを移動する

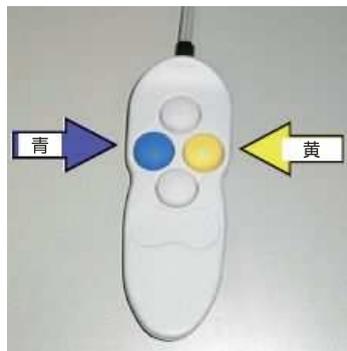
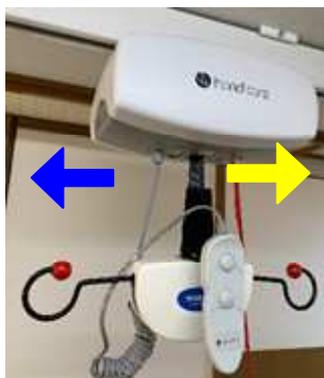


写真2 電動走行タイプのハンドスイッチ



矢印はハンドスイッチの色と対応

- 手動走行リフト・XYシステムの場合  
ハンガーを手が届く位置まで降ろします。  
ハンガーまたはスリングを装着した介護者の身体を行きたい方向へ軽く押すことでリフトはレールに沿って移動します。



写真3 リフトの下側にある方向の矢印

- 電動走行リフトの場合  
ハンドスイッチの青または黄のボタンを押し続けてください。ご希望の位置でボタンから指を離すと停止します。  
ハンドスイッチの青と黄のボタンは、リフトの下側の青と黄の矢印に対応しております。（写真2、3）

▲注意：リフトを使って移動する際は、進行方向に障害物がないか十分に確認の上、移動して下さい。

## 充電方法

リフト本体をレールエンドの充電ポイントに移動させることで自動で充電を開始します。

リフトを使用しない場合は、リフト本体を充電ポイントに移動させバッテリーの充電を行ってください。充電器には、過剰充電を防止するレギュレーターを内蔵しているため、長期間に充電を行ってもリフト本体への悪影響はございません。

バッテリー切れ後は、約1時間の充電でリフトは動作可能ですが、4時間以上充電することを推奨します。

### リフト本体LED表示について



リフトの下側、赤い電池切れ表示灯が点灯し、速い信号音が鳴ります。リフトを充電器に接続すると、このライトが黄色に点灯して、電池が充電中であることを示します。

#### 充電が必要な場合

リフトの制御盤のLEDが黄色に点灯し、遅い信号音（ピー音）が鳴ります。ディスプレイ画面には、Low Battery とが表示されます。

#### バッテリー切れの場合

リフトの制御盤のLEDが黄色に点灯の後、LEDのライトが赤く点灯し、速い信号音（ピー音）が鳴ります。ディスプレイ画面には、バッテリー切れ表示されます。上昇ボタンは使えなくなりますが、下降ボタンおよび非常下降機能は作動します。

#### 充電中の場合

電源ON・OFF時、リフトの制御盤のLEDは黄色の点灯します。

注記：充電ポイントではリフトの電源がON/OFFに関わらず充電できます。

▲注意：リフト付属の充電器以外での充電器での充電はお止め下さい。他の充電器での充電は、リフトの損傷につながります。その場合の機器の損傷は保証の範囲外となります。

### 充電器LED表示について



充電中 : LEDは橙に点灯

満充電 : LEDは緑に点灯

通電中 : LEDは赤に点灯

# ディスプレイの表示内容

---

## デフォルト表示

### 1. バッテリーレベル（工場出荷時）

ディスプレイの上の段に、“Battery” という文字と、充電したパーセンテージ（10%刻み）と充電レベルを表示をします。



注記：初めてリフトの電源を入れると、バッテリーレベルが正しく表示されない場合がありますが、リフトを実際に作動させると、充電レベルは正しく更新されます。

バッテリーレベルが25%以下になればローバッテリーモードに入ります。

この場合、リフトは10秒ごとに信号音（ピー音）を出し、ディスプレイ上の段には“Low Battery”と充電レベルが点滅します。

### 2. リフトの回数（販売代理店にて設定）

ディスプレイの上の段に、“Lifts” という文字と、行ったリフトの回数を表示し（例：“Lifts 500”）、バッテリーレベルモードと同様に、下の段にはレベルを表示します。



## 充電中の表示

### リフトが充電ポイントで充電中の場合

ディスプレイの上の段に、“Charging” と充電したパーセンテージ（10%刻み）を表示し、下の段には、充電レベルが点滅します。

## メンテナンス表示

メンテナンス表示は以下の条件で表示されます

1. 1,000回の昇降（180日間、1日4～5回）
2. 5時間の連続操作

メンテナンス表示中は30秒ごとに1回、信号音（ピー音）を出します。ディスプレイの上の段に、“Maintenance” という文字が点滅します



## メンテナンス表示の解除方法

メンテナンス完了後にメンテナンス表示の解除を行う必要があります。

メンテナンス表示の解除にはリフトカウンターをリセットする必要があります。

以下の2通りの解除方法があります。

- A :**
1. リフトが電源 OFF の状態でなければなりません。
  2. ハンドスイッチの上昇・下降ボタンを両方押しながら、リフトの電源を“ON”にします。“Tech-Prog” がディスプレイに表示され、信号音（ピー音）が鳴ります。
  3. 両方のボタンを放すと、ディスプレイに“DONE”と表示されます。信号音（ピー音）が鳴るまで、UPボタンを押します。
  4. リフトカウントが“0”になります。
  5. 通常どおり、リフトを使用してください。
- B :**
1. リフトの電源は入っているが、ディスプレイには表示が無い状態
  2. ハンドスイッチの上昇・下降ボタンを両方押しして、ディスプレイに“Tech-Prog”が表示され、信号音（ピー音）が鳴ります。
  3. A のステップ 3～5 と同じ手順を繰り返して、リセットを完了します。

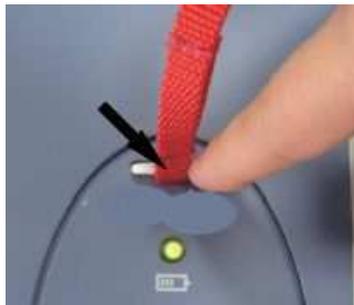
## 非常停止



赤いコードを下に引っ張り電源を遮断

リフトには、非常時に電源を完全に切る非常停止機能があります。リフトの下側にある赤い非常停止下降コードを下に引っ張ることで緊急停止します。非常停止下降コードを引っ張った際には信号音（ピー音）が鳴ります。

リフトの電源をONにするには、非常停止下降コードの根元にある白いプラスチック製タブを本体側に押し込んでください。



プラスチック製タブを押して、電源を入れます。

## 非常下降



ご利用者が安全な位置まで降り切るまで引っ張り続ける。

非常下降はハンドスイッチの下降ボタンが機能しない場合や、バッテリーの残量がなくなった場合に、リフトの下側にある赤い非常停止・下降コードを下に引っ張り続けることにより、ご利用者を下ろすことができます。ご利用者が安全な位置まで下り切るまで引っ張りつづけてください。非常停止・下降コードを引っ張っている間は、リフトから信号音（ピー音）が鳴ります。

注意：非常停止・下降コードには、上昇機能はありません。下降ボタンが故障した際には弊社認定の販売代理店までご連絡ください。

▲注意：リフトの下降機能が故障して、「非常下降」機能を使用した場合は、専門の技術者の点検を行ってから使用の再開を行ってください。

▲注意：非常下降を使用する場合、ストラップ最大長さを約2.1m以上引き出さないで下さい。最大長さ以上伸ばした場合、下限リミットスイッチが働かなくなり、下限を超えてストラップが逆に巻かれ、故障原因となります。

## 非常手動上昇/下降

▲注意：手動の非常上昇/下降システムを使用するのは、マニュアルで既に説明した下降手順が機能しない場合、または非常上昇機能が必要とされる場合に限られます。  
手動で下降を行なっている時に、リフトを使用しないでください。

▲注意：機器のカバーを取り外すため、安全なはしごや足場が必要になります。作業時には細心の注意をしてください。

### ①リフトに付属の六角レンチの確認



リフトに付属の六角棒レンチを確認する。

③キャップを外した穴に、六角棒レンチを入れて、手動で回してください。右に回すと下降し、左に回すと上昇します。



六角棒レンチを回して、上昇または下降させます。

### ②リフトの側面にある小さい円形のキャップを取り外します。



リフトの側面から、キャップを取り外す。

▲注意：リフトの下降機能が故障して、「非常下降」機能を使用した場合は、専門の技術者の点検を行ってから使用の再開を行って下さい。

## お手入れ方法

リフトは、湿らせた布や中性洗剤などを使って定期的に清掃してください。シンナーやベンジンなどの液体を使っての清掃はしないでください。

▲注意：リフトの内部に液体が入らないように、注意してください。リフトの内部に液体が入った場合は、機器の損傷や人的な傷害につながる恐れがあります。

## トラブルシューティング

リフトの使用で問題が発生した場合、以下の表を参考に故障箇所を診断してください。診断した結果から解決策を講じてください。解決策で問題が修正できない場合は、販売代理店へ連絡の上、保守点検を受けてください。

症 状	状 況	処 置
ハンドスイッチの上昇・下降ボタン、左・右移動ボタンを押しても動作しない。	●本体の電源ランプは(緑)が点灯していない。	●電源ボタンを押込んで電源を入れてください。 ⇒電源ボタンを押しても電源が入らない場合はバッテリーが完全に無くなっている可能性があります。
	●本体の電源ランプは(緑)が点灯しているが、ディスプレイに押したボタンの表示がされない場合	●ハンドスイッチが正確にきっちり差し込んでいるか確認して下さい。
オートリターンボタンを押しても充電ポイントに戻らない。	●本体の電源ランプは(緑)が点灯していない。	●電源ボタンを押込んでください。 ⇒電源ボタンを押しても電源が入らない場合はバッテリーが完全に無くなっている可能性があります。
	●本体の電源ランプは(緑)が点灯しているが、ディスプレイに『RTC Mode Release Butt』が表示がされない場合	●ハンドスイッチが正確にきっちり差し込んでいるか確認して下さい。 ●人が乗っていないか、リフト本体・ハンガーが障害物に引っかかっているか確認してください。
充電したにも関わらず、数回上下させるとバッテリー切れの信号音が鳴る。	●満充電でレベル表示が100%の場合	●バッテリーの寿命の可能性があります。
	●充電中のディスプレイの表示が充電中になっていない場合	●充電器に電気が流れていない、または充電端子との接点不良の可能性があります。
ハンドスイッチの上昇ボタンを押すと下降する。またはその逆の現象になる。	●ストラップを最長の長さよりも引き出した可能性があるか。	●ハンドスイッチの上昇（下降）ボタンを押し続け最大の長さになるまでストラップを出し続けます。最大長さになると、反転し正常な方向に巻き始めます。

▲注意：介助者を持ち上げている状態ではトラブルシューティングを行わないでください。トラブルシューティングを行う際には、必ず介助者を降ろしてから行ってください。通常の下降の場合、非常下降は使用しないでください。

# 保守点検について

---

## 日常点検

SS-450/P-625リフトと付属品、スリングを使用する前に下記項目を目視で点検して下さい。

問題があればリフトの利用を中止し、販売代理店へ連絡の上、必ず保守点検を受けて下さい。

- ストラップに、ほつれや切断の兆候がないか。
- ハンガーに接続するストラップの縫合部に、ほつれや切断の兆候がないか。
- 使用するスリングに、異常な摩耗の兆候がないか。リフトのハンガーに接続するスリングのストラップ部に、ほつれや切断の兆候がないか。
- ハンドスイッチのケーブルにもつれや、ねじれ、結び目、切断、損傷がないか。
- ハンドスイッチのすべての機能が正しく作動するか。
- レール固定ブラケットがしっかり固定され、動きや緩みがないか。
- ハンガーに亀裂やくぼみ、損傷がないか。
- ハンガーを上下に移動させる時、またはリフトを左右に移動させる時、リフトから異常な音や振動がないか。
- レールの各端部に、ストッパーが確実に取り付けられているか。

## 毎月点検

毎月点検では日常点検に下記項目を目視で点検して下さい。

問題があれば、リフトの利用を中止し、販売代理店へ連絡の上、必ず保守点検を受けて下さい。

- リフトが無負荷の状態を設置した全レールに対してスムーズに動作しているか。

## 定期点検（半年または年1回点検）

上記の点検にさらに専門的な点検を半年または年1回の定期点検を販売代理店と相談の上、契約を行ってください。リフトの使用頻度が高い施設や、体重の重い方を介助される場所では、半年ごとの定期点検を推奨します。



MORITOH CORPORATION

株式会社

モリト



『安・楽・満』

安心と楽と満足を提供し、安らぎと楽しみが  
満ち溢れた社会を創造します!

■ 製造販売元



MORITOH CORPORATION

株式会社

モリト

- 本社 千491-0074 愛知県一宮市東島町 3-36  
TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555
- 札幌営業所 千063-0870 北海道札幌市西区八軒十条東 1-1-57-101  
TEL (011) 708-5200 FAX (011) 708-5201
- 仙台営業所 千981-1102 宮城県仙台市太白区袋原 6-9-22  
TEL (022) 302-7914 FAX (0586) 72-4555
- 埼玉営業所 千336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵 4-12-6-103  
TEL (048) 753-9393 FAX (03) 3777-1649
- 東京営業所 千143-0025 東京都大田区南馬込 4-16-3  
TEL (03) 3777-1648 FAX (03) 3777-1649
- 中部営業所 千491-0074 愛知県一宮市東島町 3-36  
TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555
- 大阪営業所 千538-0043 大阪府大阪市鶴見区今津南 3-2-16  
TEL (06) 4258-7105 FAX (06) 4258-7106
- 岡山営業所 千700-0954 岡山県岡山市南区米倉 30-102  
TEL (086) 259-2910 FAX (0586) 72-4555
- 福岡営業所 千811-1204 福岡県那珂川市片縄東 1-12-1  
TEL (092) 953-1892 FAX (092) 953-1973
- 信濃大町 千398-0001 長野県大町市大字平 22393  
研修センター TEL (0261) 23-1678

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-65-2525

お問合せ [e-mail] [info@moritoh.co.jp](mailto:info@moritoh.co.jp)

ホームページ : <http://www.moritoh.co.jp>

いつでも、どこでも、だれにでも 安・楽・満を提供しつづけることが大切です。  
我々も含めたすべての人々が、安らぎと楽しみを満喫できることを願っています。